

企業情報

吉田運送株式会社
業種：運輸業
従業員規模：51～100人

課題分類

サプライチェーンの最適化
業務プロセスの効率化

DX実践の目的

サプライチェーン

無料ツールのフル活用で実現する物流資源の有効活用

課題内容

- 輸出入のコンテナ物流を行っているが、業務の効率化を検討していた。
- コンテナの輸送業務では、空のコンテナの行き来が常時発生しており非効率であった。
- 輸出入で使用した空きコンテナを継続使用する取組みをしたが、船会社や荷主、運送会社との連絡は、電話やFAXを相手ごとに使い分けているため、事務オペレーターの業務に時間と労力がかかっていた。

実施概要

- 各社との連絡手段を効率化するため、無料の「クラウドプラットフォーム」を使用して、社内や船会社、荷主、運送会社と輸送情報を共有する仕組みを導入した。
- 積荷場所、目的地、荷物の内容などのデータを蓄積し、「クラウドマップ」で陸上での空きコンテナの動きを可視化した。
- 船会社や港湾事業者との連絡を、FAXから「表計算ツール」に変更し、空きコンテナの情報を共有した。
- 荷主や運送会社との連絡手段を、電話から入力簡単な「入力フォーム」に変更し、クラウド上で共有した。
- コンテナの管理は、ドライバーが伝票やコンテナ本体をスマートフォンで撮影したものを「共有ドライブ」にアップし、オペレーターがOCR※変換によって読み込み、時には翻訳機能も使って、データベースに記録する仕組みを作った。

効果

- 荷主、運送会社、船会社などの協力会社や港湾事業者とクラウド連携により、コンテナ輸送にかかる時間を年間で2,640時間削減した。
- 事務オペレーターと現場スタッフの間を行き来する紙伝票の受渡し時間が、年間で132時間削減できた。
- 入力フォームを提供することで、協力会社にも無理なく入力作業を行ってもらうことができた。

ITツール

【使用ツール】 Google Workspace <https://workspace.google.com/>
 【取り扱い企業】 グーグル合同会社 <https://about.google/>
 【ツール概要】 Googleのアプリを使い、スプレッドシートやアプリケーション開発プラットフォームを提供



Point

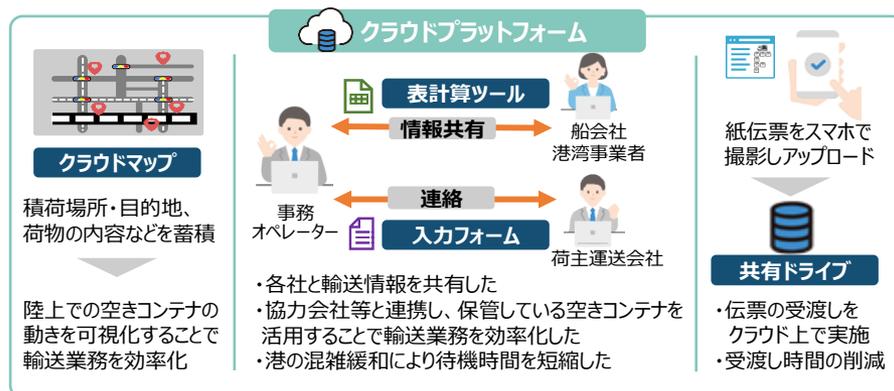
クラウドサービスの導入により

- コンテナの搬出入にかかる時間が年間2,640時間の削減
- 紙伝票の受渡し時間が年間132時間の削減

【導入前】 関係各所との連絡手段が複数種あるため、急な対応が難しく業務が非効率であった



【導入後】 クラウドツールの使用によりコンテナの輸送業務の時間を削減した



※ OCR(Optical Character Recognition):画像データのテキスト部分を認識し、文字データに変換する機能

補助金活用

-